

外縁付鈕1式 4区袈裟襷文 中山型 同範3鐸

「外縁付鈕1式」 4区袈裟襷文 中山型 同範3鐸

○島根県 雲南市加茂町岩倉（加茂岩倉遺跡）

☆島根県雲南市加茂町岩倉（加茂岩倉遺跡）24号鐸 島根県立古代出雲歴史博物館蔵

外縁付鈕1式 4区袈裟襷文 高さ 31.3cm

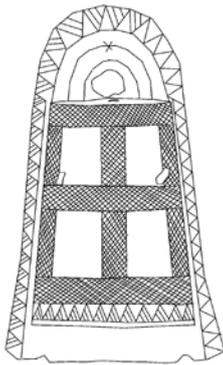
☆島根県雲南市加茂町岩倉（加茂岩倉遺跡）38号鐸 島根県立古代出雲歴史博物館蔵

外縁付鈕1式 4区袈裟襷文 高さ 31cm

☆島根県雲南市加茂町岩倉（加茂岩倉遺跡）39号鐸 島根県立古代出雲歴史博物館蔵

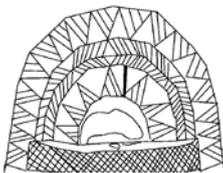
外縁付鈕1式 4区袈裟襷文 高さ 31cm

観察想像スケッチ



この3つの鐸は 鈕の菱環部の文様が全くわからない
3つもあるのだから 1つくらい 良品があってもと思う
更に 緒部分の右緒も ほとんどわからない
偶然にも 3つともA・Bの右緒の鋸歯文の斜線が見えない
想像するに 鈕の菱環外は 複数交点の綾杉文
菱環内は 鋸歯文 右緒部分は変更鋸歯文であろう
下界線 2条

加茂岩倉4号鐸 A面



この3つの鐸は 加茂岩倉4・7・19・22
太田黒田鐸と ほとんど同じサイズ
どうして同範とならないのかと不思議に思っていました
同範5鐸にある範傷が この3鐸にはないということです

加茂岩倉4号鐸などには 菱環内に まるで凸画のような
範傷があります ということで兄弟ではなく従兄弟ぐらいかな
他にも 色々あるのですが 解りやすい所でここを提示